



就職活躍事例

住田悠輔さん（電気設備技術科）

1. ポリテクセンターの訓練を受講するきっかけ

前職は、住宅関連の営業職をしていましたが、肌に合わず短期間で退職することになりました。その後就職できれば良いと考えて、就職活動をしていましたが良いところが見つかりませんでした。何をしたいか明確な目標がなかったことが一つの要因かもしれません。そんな時に友人から職業訓練があると紹介され、ハローワークに相談に行きました。プログラミングか電気関連の訓練を考えていましたが、技術を身に付けて長い間働ける仕事という視点で考えると電気が良いと考えました。見学説明会に参加して、電気の仕事や技術についての話や、就職率が良いと聞いたのが訓練を受講する決め手になりました。

2. ポリテクセンターの訓練について

授業は非常に受けやすかった。電気工事士の試験課題の見本が展示してあり、最初は本当に出来るようになるのか不安だったし、授業についていくことで精一杯でした。4か月後の電気工事士の学科試験に合格したぐらいから、知識や技術が身に付いた自分に自信が持てるようになりました。電気通信工事関連の会社で企業実習を受けました。作業の様子を見学する、簡単な作業を手伝っただけでしたが、実際の現場で作業風景を体験することが出来たので、仕事の段取り、品質や安全に対する考え方などを明確に感じ取ることが出来ました。授業では言葉では聞いていましたが、目の前で見て思っていた以上に現場でそのことが大切にされていることが分かりました。また、自分が会社で働いていくイメージも出来ました。

3. 訓練受講中の就職支援について

受講していた電気業界は非常に裾野が広いので、どの様な仕事が良いのか、何がしたいのか、最初は分かりませんでした。指導員に、企業や仕事についての質問を持ちかけると多くのことを教えてもらうことが出来て、求人を申し込む企業を絞り込む助けになりました。非常にたくさんのリクエスト求人を頂きましたが、この会社で働きたいと思えるところは少なかったため、自分から積極的に活動して、就職先を見つけて行くことが非常に大切だと感じました。

4. 訓練を検討されている方へのメッセージ

自分が働いていく方向性が決まっていなかったときや、自信を持って会社にアピールするポイントが無い場合は、訓練を受講することで、何がしたい、どんな仕事があるかと分かります。また自信を持って企業に売り込めるアピールポイントができるので、訓練を受講することをお勧めします。企業実習では、入社前に社員の方と仲良くなれることや、実際の仕事内容に不安があるなど、迷いがあれば受けるべきだと思います。

就職先企業での活躍

住田悠輔さんの業務

PBX 及びネットワーク・サーバー機器の設定、施工業務を担当しており、最近では新築オフィスビルの電話、有線&無線 LAN の通信設備工事の施工管理業務も経験し、仕事の幅を広げています。



採用企業の声 ネットワークソリューション部 乗本 純也 様

住田さんは、仕事に対する姿勢が前向きで幅広い業務内容ですが、隙間時間に自発的に学習をし、未経験ながら成長の速さを実感しております。ポリテクセンターから企業実習で弊社を訪れた後、採用までの間にポリテクセンターの先生方に通信の基礎を個別に教えて頂いたと伺っており、真面目で向上心のある方だと感じています。



株式会社 SHOEI（大阪府大阪市西淀川区竹島 3-13-27）

当社は創業以来 60 年にわたり、企業様向け電話・ネットワーク・伝送設備および N T T 様向け伝送・電力・無線設備工事を中心に、幅広く電気通信設備工事を請負、パートナー様と共に成長してまいりました。一言で「工事」といってしまっても、単に設備を設置するだけでなく、当社ではお客様との交渉から設計、施工、保守に至るまで個々人の技術を結集させ一貫して行っています。

